

【記述式試験の合格に必要な重要なキーワードは“簡潔と短”】

1. “簡潔と短”が重要なキーワード

記述式試験とは、書いたものが評価される試験です。このような特徴を持った記述式試験の合格に必要な重要なキーワードは“簡潔と短”です。つまり、「簡潔に考え・簡潔に書く」と「短い文を書く」です。

「1分で理解できる解答」の書き方^{注1)}に基づき解答を書く場合を対象としてこれらのキーワード（簡潔と短）について解説します。「1分で理解できる解答」とは、「解答の要点」と「解答の要点に関する説明（＝要点の説明）」が書いてある解答のことです。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『「1分で理解できる解答」の書き方の概要』の資料を参照のこと

2. 簡潔に考え・簡潔に書く

「簡潔に考え・簡潔に書く」とは「解答の要点を簡潔に考え、考えたことを簡潔に書くこと」です。解答の要点を簡潔に考えることで解答の要点が頭の中で明確になります。また、解答の要点を簡潔に考えることで要点の説明が考えやすくなります。さらに、考えたことを簡潔に書くことで解答の要点が試験官の頭の中にはっきりと残ります。

例えば、「災害時の課題について1つ述べよ」という問題があったとします。「解答の要点を簡潔に考える」とは「課題は、高齢者の避難の方法」のように考えることです。このように解答の要点を簡潔に考えることで要点の説明が考えやすくなります。また、解答の要点を「課題は、高齢者の避難の方法である」のように簡潔に書くことでこの内容が試験官の頭の中にはっきりと残ります。

これらについて具体的に書いたのが以下の内容です。

I：課題は、高齢者の避難の方法である。この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できるからである。

「簡潔に考え・簡潔に書く」という考え方に反して書いた以下の内容と比べればIとIIの違いがわかると思います。

II：この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できることから課題は、高齢者の避難の方法である。

3. 短い文を書く

「短い文で解答を書く（一文一義で書く）^{注2)}」で解説したように、一文一義の考え方を使って短い文で解答を書くことで解答が明確に伝わります。「短い文で解答を書く」の中で解説した例を以下に示します。

Ⅲ：高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいるが、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

Ⅳ：高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいる。しかし、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

Ⅳのように一文一義の考え方を使って短い文で解答を書くことで解答が明確に伝わります。ここでは、一文一義の考え方に基づき短い文を書くことを解説しました。短い文を書く方法として「表現を工夫する」や「内容が変わらないように表現を変える」という方法もあります。

注 2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「短い文で解答を書く（一文一義で書く）」の資料を参照のこと

4. 参考

「解答の要点＝解答の糸口」と考えることができます^{注3)}。糸口とは、「きっかけや手掛かり」という意味です。解答の糸口を見つけることで要点の説明が取り出しやすくなります。解答の糸口を見つけ要点の説明を取り出すことで解答が完成します。

注 3)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「解答の糸口を見つける」の資料を参照のこと

【参考図書】

森谷仁著、「マンガでわかる技術文書の書き方」、オーム社、令和4年3月25日

以 上